

ほほえみ

第34号 2015年8月発行



独立行政法人 国立病院機構
七尾病院

〒926-8531 石川県七尾市松百町八部3番地の1
TEL (0767) 53-1890 (代)
FAX (0767) 53-5771
ホームページ <http://www.nanao-hosp.jp/>



「夏の詩」橋本義則（七尾美術作家協会会員）

私達の信条

- 私達は、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接します。
- 私達は、国の担うべき医療を提供し、地域に親しまれる病院を目指します。
- 私達は、質の高い医療を提供し続けていくために日々研鑽いたします。
- 私達は、医療の進歩に貢献するために臨床研究を推進します。
- 私達は、互いに協力し、働きがいのある明るい職場作りに努めます。

目次

- 着任のご挨拶・・・・・・・・・・・・・2
- ふれあいイベントを開催して・・・・・・・・3
- 七尾病院クラブ紹介・・・・・・・・・・・・・4
- 第7回西湊地区健康教室を開催して・・・・5

着任のご挨拶



小児科医長 押切 貴博

平成27年4月1日付で七尾病院に小児科医長兼療育指導科長に着任いたしました押切貴博です。専門は小児外科で、前任は金沢医科大学病院小児外科でした。金沢医科大学を卒業後、中学・高校が日本大学の附属校であった縁もあり、駿河台日本大学病院、日本大学医学部附属板橋病院で研修しました。医師3年目に金沢医科大学小児外科に入局し、在職中に神奈川県の川崎市立川崎病院外科レジデント（救命救急センター併任）として2年間出向し、外科専門医を取得しました。七尾病院は小児外科の外勤先の1つであり、月曜の通園/日当直、火曜の当直で医局員がお世話になっておりました。外勤時は重症心身障がい者が多い中でどこまで自分の専門領域外の診療をこなせるのか不安に感じておりましたが、いざ着任してみると呼吸器内科、神経内科、消化器内科、外科、内科、そして小児神経の専門家の先生方が快く相談を受けて下さり、すでに円滑に診療が行える体制に整っておりました。当初は小児内科医にならなくてはならないと覚悟を決めていましたが、むしろ小児科と並行して小児外科の専門性を高めて入院患者の気管カニューレや胃瘻チューブ/ボタン、栄養などの小児外科に関わる領域についてさらに知識を深めて行く方が、より重症心身障がい児（者）に幅広い医療、在宅医療支援が行えるようになるのではないかと今では考えています。

さて、私事ですが趣味はスポーツです。中学から始めた剣道はまだ3段です。北陸のレベルの高さに驚いて以来20年も段審査を受けてません。ただ内灘町や河北郡の大会、関西医歯薬剣道大会に下手の横好きで出場させてもらっています。小学生から始めたサッカーでは、高校時代に指導した一人が日本代表にまでなったのが最も嬉しかったことです。現在は大学の理学療法士の先生たちのフットサルサークルで「走れ〜！！」と怒鳴られてます。テニスは月8回ペースで打ってます。7月末にオープンした和倉の24面コートが待ち遠しいですね！最近では、七尾病院野球部に誘って頂きました。富山病院との練習試合で3打数0安打だったのが悔しく、仕事帰りにバッティングセンターで自主トレです。なぜ痩せないのか？？疑問です。

平成27年4月に七尾市内で3番目、羽咋郡以北では4番目の複数の小児科常勤医がいる診療機関となりました。早々に七尾医師会から、小児救急の当番医の打診があり、この10月から当院でも引き受けさせて頂くこととなりました。関係する病院スタッフにはいろいろな面でご迷惑をおかけするとは思いますが、能登地区の小児と重症心身障がい児（者）医療の一翼を担い、七尾・能登が子供を産み育てやすい街となるよう、夢と使命感を持って一緒に頑張っていきたいと思います。地域に開かれた病院・小児科を目指しています。ご協力とご指導をよろしくお願い致します！！

ふれあいイベントを開催して — 地域の方との交流と七尾病院のPR —

副看護師長 森川直子

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日の「看護の日」を記念して、当院から七尾駅に向かって約2kmの位置にある「どんたくベイモール店」前において、健康チェックを通じて地域の方々との交流、そしてより七尾病院を知っていただくことを目的に今年で8回目となる「ふれあいイベント」を開催しました。

当日は、台風の影響で朝から小雨が降り、また、風による影響など心配しましたが、日頃、体脂肪や血糖値、血管年齢や肺年齢を測定したことのない方や、広報やポスターを見て院長による健康相談や栄養指導を受けられる方、また、買い物帰りに寄られた方など短時間にも関わらず65名の方が利用してくださいました。

利用者からは、「仕事をしているから、普段なかなか病院に行けないけど、皆さんが来てくれるからありがたいです。」や「健康チェックの結果を見ると、もう少し自分の体を大事にせなダメやね。頑張るわ、ありがとう。」など、多くの感謝の言葉をいただきました。

また「七尾病院は知っていたけど、行ったことがないから今度行くわ。」と、病院の連絡先や診察の予約方法を確認される方もお見えになりました。地域の方々の温かい言葉に包まれ、今回も有意義なものになったものと感じております。

七尾病院の信条に「患者さんにいつも愛と思いやりの心で接する」や「地域に親しまれる病院を目指す」とあります。今回対象は地域住民の皆さんでしたが健康チェックを通じて信条にかなった内容であったと思います。

今後もふれあいイベントを継続して開催し、地域の方々から温かく見守られ、高台にありますが出来るだけ多くの皆さんに足を運んでいただける病院を目指し、病院スタッフともども頑張っていきたいと思っております。

当日の様様



七尾病院クラブ紹介

ラージボール卓球部



主任理学療法士 松田 崇

職員の健康増進とレクリエーションを兼ねて4月よりラージボール卓球部が開設されました。ラージボール卓球というと聞きなれない方もいらっしゃるかもしれませんので少しお話ししたいと思います。

ラージボール卓球とは通常の卓球のボールよりひとまわり大きく、軽く作られているボールを使って卓球を行います。そのためボールのスピードや回転が減ることとネットの高さも通常より2cm程高くしてあることで、初心者や高齢者でも楽しめるように工夫されています。

当院の藤村院長はラージボール卓球ダブルスで全国大会優勝の経験を持つほどの腕前で、かねてよりリハビリテーション室に卓球台を設置して、職員の健康増進とレクリエーションを図りたいとの意向を聞いておりました。そして、このたび藤村院長のポケットマネーから卓球台一式とラケットを購入していただき、この4月よりラージボール卓球部の開設に至りました。藤村院長が顧問を務め、私が卓球経験者であることと卓球台の設置場所がリハビリテーション室ということもあり、ラージボール卓球部部長の命を受けました。

活動は今のところ不定期で主に勤務時間外の夕方に活動しています。これからのラージボール卓球部の活躍にご期待下さい！

野球部



医療社会事業専門員 上田 竜也
作業療法士 出村 完

私たち野球部は、医師、看護師、リハビリ、MSW、介護福祉士、保育士、事務職員など職種問わず、約20名のメンバーで活動しています。活動は主に七尾市内の野球場や近隣の中学校グラウンドをお借りして、平日の終業後や休日に練習や試合を行っています。普段より仕事仲間としてみな協力し患者さまに医療を提供していますが、野球を通じて、職員同士のコミュニケーションがより円滑に図れ、医療スタッフに大切なチームワークがより強固なものになっていると感じます。

野球部は今年度で創部4年目を迎えました。当初は人数、練習や試合、お楽しみの食事会も少なく、院内でも知名度の低い活動でしたが、最近では各職種のはつらつとした若手、野球経験も人生経験も豊富なベテランも加入し、年々活動にも熱が入るようになりました。過去の試合成績は負け越していますが、26年9月には積み重ねてきた練習とチームワークによって初勝利を収めることができました！

また、私たちと対戦していただける相手を随時募集しています。興味のある方(チーム)は、気軽に「地域医療連携室 上田」までお声掛けください。

第7回西湊地区健康教室を開催して

医療社会事業専門員 上田 竜也

平成27年7月11日(土)、西湊公民館で健康教室を開催しました。

健康チェックでは酸素飽和度、血圧、血糖、握力、体重(体脂肪)、血管年齢、医師による測定値コメントを行いました。

第一講演は陳診療部長による「大腸がんについて知っておこう」という演題でした。がんの統計では部位別がん死亡数(2013年)では男性は肺、胃、大腸と女性では大腸、肺、胃の順で多く、大腸がんは男女ともに死亡数が高いことがわかりました。また大腸がんの部位別発生率では直腸：37.9%、S状結腸：34.3%で約7割を占めています。そのため直腸とS状結腸まで検査することがおすすめされます。大腸がんの症状の特徴では、早期段階では自覚症状がなく、下痢や血便などの症状があればがんが進行している可能性があります。早期がんと進行がんそれぞれ治療法が異なり、早期であれば主に内視鏡治療が選択され、進行がんであれば手術療法や放射線療法も選択し対処療法を行っていく場合もあります。大腸がん予防には、適度な運動と肥満の予防、検診による早期発見と早期治療などが鍵になります。食生活では動物性脂肪の摂りすぎを避ける、食物繊維の多い食品をよく摂るなども大腸がん予防に役立ちます。大腸がん患者数・死亡数共に年々増加しているため、罹患率が高くなる40代から、自覚症状がなくても検診がすすめられます。

第二演題は田本老人看護専門看護師による「病気になりにくい体づくり‘フレイル’って知っていますか？」という演題でした。七尾市の高齢化率は約33パーセントで、全国的にも高齢者の多い地域と言えます。また七尾市の要介護・要支援認定者数も年間約80人ずつ増加しており、介護が必要な高齢者が多くなっている現状です。タイトルにもある‘フレイル’とは、‘健康を崩しやすく介護が必要になる前の状態’を指します。フレイルの評価基準は、力が弱くなった(握力の低下、男性:26kg未満、女性:18kg未満)、活動量の低下(不活発)、歩く速さが遅くなった(0.8m/秒以下)、疲労感、体重減少の5つで判断します。フレイルを予防していくためには、今の生活を維持していくこと、活動的な生活を続けそのリズムを崩さないことが大切です。

今年は49人と多くの方に参加していただきました。地域の皆さんからは積極的にご質問いただき、自身の健康法をご紹介されている方もおられました。当院はこれからも健康教室や出前講座などで皆さんの健康増進に寄与したいと考えています。

陳診療部長



田本老人看護専門看護師



看護師募集!

入院から在宅までの
看護を一緒に行いましょう!

*しばらく医療の現場から
離れていた方への職場復
帰を支援するための研修
を行っています。ご利用
下さい!

問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構七尾病院 看護課
(0767) 53-1890 (内線1104)



外来診療担当医表

外来受付時間 8:30~16:00

診療時間 8:30~17:00

	月	火	水	木	金
内科	横地	橋井	陳	藤村 森永	堂下
外科				土島	
呼吸器科	藤村 (PM)	藤村 (PM)	大谷 (PM)	藤村 (AM)	藤村 (AM:初診のみ) 堂下
ペインクリニック			松島 (AM)		
神経内科	横地	横地	横地	森永	森永
小児科	押切/泉 交代医	押切 泉	押切/泉 岡田1回/月	押切 泉	押切/泉 松島
消化器科	陳	陳	陳	陳	陳
皮膚科	和泉 (AM)	藤村啓	藤村啓 (AM)	休診	竹田 (AM)
循環器科					上野 (AM)

※小児期の予防接種はじめ各種予防接種を行なっております。

病院概要

■医療法病床 240床
(一般病床/190床、結核病床50床)

■標榜診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、
ペインクリニック内科、外科、小児科、皮膚科、
リハビリテーション科



案内図



JR七尾線「七尾駅」下車
→北鉄バス【和倉温泉行】にて
(3.7km./約15分)七尾病院前下車
→徒歩5分(500m.)

※平日の午前中は坂下まで
病院バスの送迎あり



編集後記

院内で聞くうわさ、どうやら七尾病院にはうさぎがいるらしい。仕事帰りに花壇を見ていたら草陰から素早く動く影が、待ちわびた対面は一瞬でした。

医療社会事業専門員 上田 竜也